



日本の“宝島”あまくさ

# ほんど

まちづくり協議会だより



## 小さなことから～あるもの探しからの輝く地域づくり～

月日が経つのは早いもので、天草市が誕生して12年目に入ります。この間に講演会や、先進地視察をはじめいろいろな事業を行ってまいりました。

これを通して学んだことは、どんなに国が「地方創生」「地方分権」を唱え金とモノを投入しようと、地方の自立とはなりません。住んでいる人々が、自ら変わっていくことでしかできない、ということです。

先日、日本の宝島“天草”づくり講演会で、広島県川根振興協議会の辻駒健二さんのお話をお聞きました。過疎化で一番怖いのは「田舎はだめだ」という心の過疎です。人・土地・文化・地域・誇りの空洞化、これがますます地域を寂れさせていきます。自分たちは素晴らしい土地に住んでいるという誇りです。あなたたちは何をしましたか！これからどう生きるのですか！愚痴の中に答えがある。私たちは、行政にさせなければいけない、行政はしてやらなければならない、と思っていませんか？住民参加とよく言われますが、住民自らが知恵を出し、地域づくりを提言する、行政参画の地域づくりをしたいものです、地域に何が必要か！何をしなければいけないか！私たちの後ろ姿を次の世代に見せましょう。と辻駒さんは言います。

住民参加というのは、やらされている、と

いう感じがなりません。主体となるのはまちの人たち、主役が客席に座っているうちは幕が開きません。

補助金が出ることで、当事者意識が薄らぐ難しさや、地域の良さを地域の人たちが一番よくわかっていない、補助金に頼らず住民の力を引出し、養うことで持続的なまちづくりが可能になるのではないのでしょうか。

当たり前を疑うこと、挑戦する勇気、挑戦しなければ失敗はしません、しかし失敗しなければ成功しないのです。

「積小為大（二宮尊徳）」という言葉があります、小を積み重ねて大となす、小さな努力の積み重ねがやがて大きな収穫や発展に結びつく、地域づくりも、小さく始めて大きく育てていく、まずは小さいことから始めてみましょう。

今年度から、地域おこし協力隊員を天草市でも採用していただきます。そのうちの3名をまちづくりに関わっていただきます。よそ者の目を通して、地域の人と一緒に地域域の素晴らしさを発見しそれを生かした地域づくりを目指します。ないものねだりではなく、あるものさがし、何も無いとは言わない、何も無いとは言わせない、そのような覚悟でふるさとあまくさを元気に、輝く地域に創り上げていきましょう。皆様のご協力をお願いいたします。



本渡まちづくり協議会  
会長 中川竹治

Vol. 18

平成29(2017)年4月1日号

### 目次

- 会長あいさつ…………… 1
- 平成28年度事業実績報告…………… 2～4
- ふるさと応援寄附金のお礼  
チャレンジ事業の取り組み成果…………… 5
- 各地区の話題…………… 6～7
- おしらせなど…………… 8

▶ 第1回 研修風景



▶ 講師 吉本哲郎氏



## 人材育成研修

# 平成28年度 事業実績報告

本渡まちづくり協議会では、「まちづくりは“人”づくり」をテーマに、地域を担う人材の育成や地域の活性化に向けて、「まちづくり研修事業」や「人材育成研修事業」などを実施しました。

「人材育成研修」事業は、地域リーダーの育成を図り、地域のさまざまな課題を解決し、特色あるまちづくり活動の展開を推進することを目的として研修を行う事業です。

【参加者】  
第1回：39人 第2回：36人  
第3回：35人 第4回：32人

【場 所】  
第1回：天草宝島国際交流会館ポルト（多目的ホール）  
第2回：下浦町船場地区  
第3回：下浦町船場地区  
第4回：船場自治公民館

### 【期 日】

第1回：平成29年1月11日  
第2回：平成29年1月22日  
第3回：平成29年2月12日  
第4回：平成29年2月19日



▲5項目アンケートのようす

## まちづくり研修

【期 日】  
平成29年2月14日～15日  
【場 所】  
岡山県笠岡市・倉敷市  
【参加者】 17人

「まちづくり研修」事業は、まちづくりを推進する人材の発掘と育成を目的として、県内外の先進地を訪問し研修を行う事業です。  
本年度は、平成29年2月14日から15日まで、岡山県の笠岡市と倉敷市を訪問し、本協議会委員など17人の参加がありました。



▲かさおか島づくり海社での研修



▲石切の杜の見学

笠岡市では、第6回地域再生大賞を受賞した「NPO法人かさおか島づくり海社」を視察。同社の石井事務局長から笠岡諸島の現状やこれまで取り組まれてきたこと（島の運動会や買い物支援）などをご説明いただきました。その後の意見交換では、委員から買い物支援やコミュニティバス、デイサービスなどの事業についてさまざまな質問が出されました。その後、同社が市から指定管理を受け運営している「石切の杜（宿泊研修施設及び高齢者共同生活住宅）」の運営状況などの説明を受けました。  
倉敷市では、市民活動推進課の職員の方から同市の住民



▲聞き書きのようす

※地元学とは？  
ないものなだりをやめて地元にあるものを探し、あるものを新しく組み合わせ、地域の持っている力、人の持っている力を引き出し、地域を元気にしていくこと。

本年度は、地元学ネットワークを主宰する吉本哲郎氏を講師としてお招きし、平成29年1月11日、22日、2月12日、19日の計4回の研修を行い、延べ142人の参加がありました。  
第1回は、吉本氏が取り組まれて来られた実例を、映像とパワーポイントを使って説明いただき、「地元学」について学びました。



▲成果発表

第2回、第3回は、下浦町船場地区をモデル地域に、実際の手法を実践しました。第2回は、3班に分かれて地区を歩いて回り、「これ何だろう」と思う地区の「あるもの探し」や出会った人に地区の好きな場所などをたずねる「5項目アンケート」を行いました。



▲成果発表



▲倉敷市での研修

自治組織の状況やまちづくりの施策、また、同市で策定されている「地域の課題解決応援ブック」の内容などについて説明を受けました。  
その後の意見交換では、委員から住民自治組織の課題や応援ブックの運用法などについて、活発に質問が出されていました。

## 協議会だより発行

【1回目】平成28年10月15日号（V01.17）発行  
【2回目】平成29年4月1日号（V01.18）発行  
【配布】本渡地域の全世帯

「協議会だより発行」事業は、本協議会の活動や各地区のまちづくりに関するさまざまな情報を広く発信することを目的として、年2回本渡地域の全世帯へ広報紙の配布を行う事業です。  
本年度は、1回目を平成29年10月15日号（V01.17）として発行し、今回2回目を平成29年4月1日号（V01.18）として発行いたしました。  
多くの地域住民の皆さんのまちづくり活動に対する理解や、まちづくり活動への積極的な参加に向けて啓発を行っています。



▲成果品「何これマップ」



▲成果品「あるものマップ」

第3回は2人1組に分かれて、地区の住民の方に地域の歴史、お仕事、歩んでこられた人生のお話を伺って文章として記録する「聞き書き」を行いました。  
第4回は、第2回、第3回で調査したものをまとめ、地元の公民館で地区の住民の方の前に成果発表を行いました。



▲まちづくり協議会だより V01.17

## 善意の寄附ありがとうございました (敬称略)

[平成28年9月～平成29年2月 本渡まちづくり協議会受領分]

### 〇ふるさと応援寄附金として

福田 良治 (東京都)	大森 亜紀 (沖縄県)	住吉 高志 (大阪府)	吉田 絵美 (愛知県)
大野 一代 (大阪府)	澤 明男 (愛知県)	熊崎 崇文 (千葉県)	吉永 英人 (静岡県)
田尻 圭也 (東京都)	石田 亨 (東京都)	清家 靖代 (愛媛県)	青島 健司 (大阪府)
加藤 毅 (神奈川県)	内田 亨 (静岡県)	木造 義秋 (岐阜県)	大橋富美雄 (愛知県)
竹崎 英一 (広島県)	木村 喜一 (福岡県)	松下 功 (千葉県)	高木 武俊 (福岡県)
武田 親幸 (大阪府)	松下聡一郎 (東京都)	五味 幹常 (神奈川県)	中村 尚登 (静岡県)
大里 陽一 (兵庫県)	片平日出夫 (埼玉県)	甲斐 知 (福岡県)	木田 剛士 (神奈川県)
岡崎 直哉 (福岡県)	松浦 輝次 (大阪府)	藤田 美章 (埼玉県)	柴田 浩幸 (東京都)
益子 泰雅 (東京都)	深澤 俊博 (宮城県)	村山 武男 (神奈川県)	大塚 浩 (神奈川県)
鬼塚 まり (東京都)	井上 幸子 (東京都)	金田 万作 (東京都)	Joshi Bijeta (東京都)
貴田 雅 (神奈川県)	斎藤 恭子 (東京都)	※その他、40名の方々にご寄附いただきました。	

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願いたします。

## チャレンジ事業の取り組み成果

下浦地区と宮地岳地区は、平成26年度～平成28年度の3カ年にかけて、個性ある地域づくりの推進などを図るため、「天草市まちづくりチャレンジ支援事業」に取り組みました。

### ⑤ 下浦地区振興会～下浦フィールドワーク～

下浦石工文化・歴史を検証し、まちづくりに活かしていくため、九州大学を始めとした大勢の方とともに下浦地区を調査し、「よそもの・わかもの・ばかもの」の視点から、さまざまな下浦の可能性を発掘しました。下浦石工の歴史本の作成、下浦の情報を発信するためのホームページの立ち上げ、石工場跡地を整備してイベントに使用するなど、この事業をきっかけとして新しい取り組みが多数生まれ、下浦に新しい風が吹き込まれました。



▲石工調査のようす



▲もみじの植樹のようす

### ④ 宮地岳地区振興会～亀ヶ淵整備事業～

宮地岳から新和・碓石地区に抜ける県道の途中にある亀ヶ淵。昔は子どもたちの遊び場でしたが、不法投棄の増加などにより安全な遊び場ではなくなっていました。昔のきれいな姿を取りもどすため、平成22年度から碓石地区と合同で清掃活動などを始め、平成26年度から本格的な整備を開始。木製の展望所や沢へ降りる階段などの設置、遊歩道の整備、もみじの植樹などを進めた結果、不法投棄が解消されたばかりでなく、景観も良くなり安全に楽しめる場所となりました。

四季折々に変化する景色を楽しむことができますので、ぜひお立ち寄りください。



▲成果発表

研修を終えて、参加された方からは「あるものに気付く意識の開発になった、今後は見方を変えて生活したい」「研修したことを生かしていきたい」、自分の地区をもっと歩きたい、調べてみたい」「小さなことでも出来ることから、まっすぐやってみようと思う」など、研修で学んだことを積極的に活かしていきたい！という意見が多数述べられました。今後は「地元学」を活用したまちづくり活動が活発に進められていくものと思います。

### ■平成28年度 事業実績一覧

実施期日・期間	「事業名」(実施場所)	参加者
	事業内容	
平成28年 7月 1日	「第1回 まちづくり協議会」会議 (ポルト)	25人
	役員の選任 平成27年度 事業実績・収支決算の報告・承認 平成28年度 事業計画・収支予算の審議・決定	
平成28年 10月 15日	「Vol.17 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布)	—
	平成28年度 事業計画・収支予算、地区振興会長・職員紹介、各地区の話題、ふるさと応援寄附金のお礼、おしらせなどを掲載	
平成28年 12月 22日	「第2回 まちづくり協議会」会議 (ポルト)	23人
	人材育成事業、まちづくり研修事業、まちづくり講演会について審議・決定	
平成29年 1月 11日 1月 22日 2月 12日 2月 19日	「人材育成研修」事業 (ポルト及び下浦町船場地区)	延べ 142人
	地元学ネットワークの吉本哲郎氏を講師にお招きし、計4回の研修を実施	
	第1回：座学 (ポルト)	
	第2回・第3回：フィールドワーク (下浦町船場地区) 第4回：成果発表 (船場自治公民館)	
平成29年 2月 14日 ～ 2月 15日	「まちづくり研修」事業 (岡山県 笠岡市・倉敷市)	17人
	笠岡市：かさおか島づくり海社、介護・買い物支援の研修 倉敷市：倉敷市役所、住民自治組織・地域の課題解決応援ブックの研修	
平成29年 4月 1日	「Vol.18 まちづくり協議会だより発行」事業 (本渡地域配布)	—
	平成28年度 事業実績報告、ふるさと応援寄附金のお礼、各地区の話題、おしらせなどを掲載	

▶ラストスタート！勝つのはどっち!?



### 白熱!佐伊津町町内一周駅伝大会

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

平成29年1月29日、第41回佐伊津町町内一周駅伝大会を実施。昨年は、まさかの大雪で初めての中止となりましたが、今年は天候にも恵まれ、17チーム(地区12チーム、オープン5チーム)で健脚を競いました。伝統と歴史のあるこの大会。町外からもオープン参加が出来ますので、来年はあなたも参加してみたいはいかがですか?

### 子どもたちがスケートを体験しました♪

宮地岳地区振興会 会長 松川 莞爾

平成29年1月22日、青少年部会の「わんぱくバス研修旅行」でスケートを体験してきました。天草の中で最も寒い宮地岳に住んでいても体験することができないスケート。初めて氷の上を滑る子どもたちがほとんどだったと思います。こんな寒さの中でも子どもたちは元気そのもの。何回転でもめげず、けがすることなく、終了間際には氷上を上手に滑っていました。子どもたちの健全な成長を祈りながら、来年度も楽しい体験ができるよう計画をしていきたいと思ひます。



▶あんまり押さないでっ!

### 本町の町民性



▲天草支援学校による天竜太鼓

本町地区振興会 会長 森 孝

本町地区の町民性は、今から360年前に天草地域の石高半減を江戸幕府に訴えた鈴木重成公の鈴木精神「義を貫き全力を尽くして世のため人のため奉仕する愛の心」が今でも脈々と受け継がれています。そのことにより、町民性は穏やかで人と争うことを嫌い、人のために何か役立つことを良としています。この鈴木精神を基本理念として、毎年11月23日にふるさと祭りを開催しており、平成28年度は、鈴木神社の例大祭と合わせ、本渡中学校の吹奏楽部を始めとした演芸会や農産物展示、沿道には各団体のバザーの出店などで多くの人に足を運んでいただきました。

## 各地区の話題

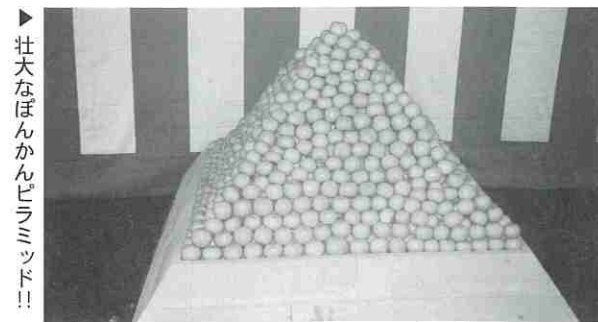
### 子どもたちが「ものづくり」を体験

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

平成29年1月29日、子どもたちがものづくりの楽しさを体験し、道具の使い方を学ぶ子供お楽しみ事業を開催しました。小中学生20人は講師の指導により、①竹とんぼ、②ジェルキャンドル、③手作りカレンダー、④とんぼ玉、⑤フラワーソープアレンジ、⑥クッキー作りに挑戦。世界に一つだけの作品を作り上げました。



▶ドキドキのとんぼ玉づくり



▶壮大なぼんかんピラミッド!!

### 第25回 下浦町ふるさと祭りを開催しました!

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

平成29年2月5日、「石工・ぼんかんの里 下浦町ふるさと祭り」を開催しました。25回の節目となる今回の祭りでは、石組の土台を用いた「巨大ぼんかんピラミッド」を作成し、石工の技術と色鮮やかなぼんかんの組み合わせは、まさに「石工・ぼんかんの里」の名にふさわしいものでした。当日はあいにくの天気であり、グラウンドの状態も悪く開催でしたが、くまモンステージや猿回しを始めとして、下浦町の選りすぐりの歌唱と舞踊でステージを盛り上げ、シャトルバスが度々満席になるほどのお客様に来ていただくことが出来ました。お越しいただきありがとうございました!雨にも負けない下浦町の団結力を、これからもずっと引き継いでいきたいと思ひます。

### 寄附者の想いを寄せて!

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

平成29年2月7日、十万山頂上の駐車場付近一帯に「東京本渡会」様からのご支援や本渡南地区振興会へ頂戴しました「ふるさと応援寄附金」を使わせていただき、東京本渡会会長の平田様ほか関係者の方々とカワズザクラの苗木を植樹しました。カワズザクラは、早咲きで2月上旬から開花し、一足早い春を告げてくれます。今回植樹したときにはこれまでに植樹された花がすでに咲いており、これからも寄附者の熱い想いが毎年たくさんの美しい花を咲かせてくれることに春を運んで来てくれることと思ひます。



◀上手に折れるかなあ!?

### 昔遊びで楽しみました。

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克幸

平成28年11月13日、伝承遊び交流会で折り紙遊びを実施しました。これは本渡北小学校PTAふれあひフェスタにあわせ、民生・児童委員さんと子どもたちが交流を図るものです。当日は委員さんたちに折り方を教えてもらいながら、昔遊びを楽しく熱心に学ぶことができました。



◀美しい花が咲き誇りますように!:

### みんなで楽しいひなまつり!

亀場地区振興会 会長 河野 昇

亀場地区では、毎年、「お雛様会」を開催しています。今年は、平成29年2月26日に開催し、幼児、小学生と保護者を含め、約80人の参加がありました。まず、みんなで「うれしいひなまつり」の合唱や紙芝居、メインの折り紙でのお雛様作りでは、お友達や保護者と一緒に可愛いお雛様を作りました。作ったお雛様を持って記念撮影をパチャ!そうこうしているうちにお腹が減りました。お昼ごはんは、チラシ寿しにからあげなどみんなでおいしく食べました。会の最後には、運試しのピンゴゲームで盛り上がりました。未来を担う「亀っ子」がすくすく育っていくことが楽しみです。



▲可愛いお雛様ができました♪

### 見る人の心も温まるイルミネーション

杵宇土地区振興会 会長 菅原 一男

ふるさと応援寄附金を活用しイルミネーション事業をより盛大に開催するようになり、今回で2回目。杵宇土地区振興会の各部会員や町民により、今回は竹を使った骨組み作りにも挑戦。1週間に渡り飾り付けを行い、平成28年12月19日から1月9日まで、きらびやかな電飾がコミュニティセンターを飾りました。

また、今後の参考にするために、ご意見&ご感想ノートを設置し「とても綺麗だった。子どもが大喜びでした。来年も楽しみにしています。」など、他にも多くの感想があり大変励みになりました。ご寄附をいただきました皆様には、あらためて感謝を申し上げます。



◀竹の骨組みによるイルミネーション



◀熱く語られる柳原さん

### 防災講演会を実施しました!

志柿地区振興会 会長 松本 明博

平成28年度新規事業「防犯・防災啓発事業」としまして、平成28年10月30日に防災講演会を開催しました。当日は約60の方々に参加していただき、講師は今テレビや新聞などで注目を集めている「歌うママ防災士「柳原志保」」さんをお招きしました。東日本大震災や昨年発生した熊本地震で被災された経験をもとに、女性目線での避難所生活の話や、無理なくできる備えなどを教えていただき、講演にいられた方たちは、大変勉強になりました、もっと多くの人に聞いて欲しいと口々におっしゃってました。

これからも地域の皆さまに喜ばれるような事業を実施していきたいと思ひます。

# ほんどのいま

平成29年3月1日現在  
(H28.9.1との比較)

【本渡南】 男.....4,076人 (- 29)  
女.....4,765人 (- 30)  
計.....8,841人 (- 59)  
世帯数.....3,888 (- 28)  
高齢化率.....31.0%

【本渡北】 男.....5,335人 (+ 36)  
女.....5,807人 (+ 19)  
計.....11,142人 (+ 55)  
世帯数.....4,752 (+ 21)  
高齢化率.....22.6%

【亀場】 男.....2,033人 (- 14)  
女.....2,352人 (- 7)  
計.....4,385人 (- 21)  
世帯数.....1,803 (- 3)  
高齢化率.....22.9%

【杵宇土】 男.....323人 (- 5)  
女.....336人 (- 2)  
計.....659人 (- 7)  
世帯数.....272 (+ 2)  
高齢化率.....42.3%

【志柿】 男.....1,368人 (+ 2)  
女.....1,606人 (+ 4)  
計.....2,974人 (+ 6)  
世帯数.....1,253 (+ 4)  
高齢化率.....30.4%

【下浦】 男.....838人 (- 4)  
女.....978人 (+ 1)  
計.....1,816人 (- 3)  
世帯数.....791 (+ 7)  
高齢化率.....42.6%

【楠浦】 男.....1,177人 (+ 9)  
女.....1,306人 (- 3)  
計.....2,483人 (+ 6)  
世帯数.....1,014 (- 0)  
高齢化率.....34.4%

【本町】 男.....882人 (+ 2)  
女.....939人 (- 6)  
計.....1,821人 (- 4)  
世帯数.....846 (+ 1)  
高齢化率.....35.8%

【佐伊津】 男.....1,588人 (+ 12)  
女.....1,774人 (+ 10)  
計.....3,362人 (+ 22)  
世帯数.....1,444 (+ 8)  
高齢化率.....34.2%

【宮地岳】 男.....262人 (- 5)  
女.....271人 (- 2)  
計.....533人 (- 7)  
世帯数.....252 (- 4)  
高齢化率.....49.3%

【合計】 男.....17,882人 (+ 4)  
女.....20,134人 (- 16)  
計.....38,016人 (- 12)  
世帯数.....16,315 (+ 8)  
高齢化率.....29.3%



## 天草春の風物詩

# 「宮地岳かかし村」開村中!!

現在、宮地岳地区振興会が取り組む「宮地岳かかし村」が開村しています(5月7日ごろまで)。今年のテーマは「宮地岳かかしハイヤ」。

平成21年から、高齢者の皆さんを中心に1体1体時間を掛けながら丁寧な作業でかかしを増やし続けてきました。今年は、昨年より40体増え約320体の「かかし」たちがお出迎えます。

川のせせらぎ、小鳥のさえずり、ゆったりと流れる時間の中で心癒せる時間を過ごしませんか。もしかしたら、「自分によく似た」「懐かしいあの人に似た」かかしに会えるかもしれません。ちょうどその頃には、かかし村周辺で芝桜も観ることができます。



田んぼのあぜ道を歩きながらの散歩も楽しんでみてはいかがでしょうか。期間中には不定期(主に日曜日)で縁側カフェやバザーも開催します。宮地岳でつくられた「ぜんざい、やまがねあげ」などをご賞味ください。

場所は、本渡市街地から牛深方面へ向かう、国道266号沿いにある、宮地岳町豆木場交差点一帯です。今年はフォトコンテストも同時開催し、入賞者には天草の特産品を贈ります。皆さんも、ぜひご来村ください。詳しくは、宮地岳地区振興会事務局(TEL:28-0001)にお問合せいただくか、市のホームページ、天草Webの駅などをご覧ください。



### 編集・発行 本渡まちづくり協議会

【事務局】  
天草市 地域振興部  
まちづくり支援課  
〒863-0023  
熊本県天草市中央新町15番7号  
TEL 0969-32-6661  
FAX 0969-23-1999  
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

▼本渡まちづくり協議会にふるさと応援寄附金として多くの方から多額の寄附をいただいています。予想以上の件数と額に「ビックリ!!」しつつも大事に使わないといけないと考え、なかなか使えない。有効に使って寄附者の方々にあそこんどのおおっどんの寄附でなりたつとつとといわれるように未来への投資を行っていただければと思います。

▼いよいよ4月から長男が小学校に入学します。月日が経つのが早いなあと感じつつ、最近では算数ドリルやひらがなの練習など本人なりに考えて準備をしているのを見ると成長しているんだなと感じています。私自身も子どもに負けないようにしっかりと準備して、新年度いっスタートをきりたいと思います。

### 編集後記